

富士見市公民館運営審議会（鶴瀬地区）議事録

会議の名称	令和2年度 第2回 鶴瀬地区公民館運営審議会
開催日時	令和2年12月15日（火）午後6時～7時30分
会場	鶴瀬公民館事務室
出席者	神木基晴 長ヶ原美博 小谷千佳子 小林勝夫 鶴瀬公民館長 事務局 （合計6人）
欠席者	なし
議事録確認	議長
公開・非公開	公開（傍聴人0人）
次第	○議題 ・今期の鶴瀬地区公民館運営審議会の議題について ・全体公民館運営審議会のテーマについて
会議内容	
<p>○議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今期の鶴瀬地区公民館運営審議会の議題について</li> </ul> <p>【議長】前回の全体会議の際に、「コロナ禍における新しい生活様式の中での施設のあり方」がテーマとして挙げられた。新しいサークル活動のかたちや、規制される中で新しいものを考えていく必要性などの話があった。それを踏まえ、意見を伺いたい。</p> <p>【委員】以前より公民館利用者に若年層が少ないという課題がある。現在、コロナ禍においてテレワークの推奨により働き方が大きく変わってきて、平日土日問わず、家にいる時間が増えている。外出自粛の要請がある中では、まだ動くことはできないが、地域に人がいる、若年層の方がいるということは、好機ととらえることができるのではないかな。</p> <p>【委員】子どもの保護者からも、子どもと一緒に過ごす時間が増えてきたので、家庭の中にも変化がみられるという話は、よく聞かれる。</p> <p>【委員】現在、鶴瀬公民館は工事中で休館だが、3月頃に、利用者の方や地域の方を対象に、どのように工事で公民館が変わったかのような報告会を行ってみるのもよいのではないかな。</p> <p>【委員】新しい利用者を増やす、ということが大事。そのためには、施設を知ってもらう必要がある。</p> <p>【事務局】11月に、スマホの体験講座を行った際、新しい人が多いように感じた。申し込みの際に場所の確認で、「鶴瀬小学校の向かい」「信号の角のところ」という聞かれ方をされた。築40年になるが、まだ知らない方が地域にいると同時に、講座を機に公民館を知ってもらう良い機会だと感じた。</p> <p>【委員】周知や宣伝の仕方が大切。市の広報や公民館だよりは、年齢層があがるほ</p>	

ど、見ている方が多い。若い世代は、SNSのほうが効果的である。

【委員】コロナ禍で、散歩をしている人が増えている。ウォーキングを考えると、鶴瀬公民館を休憩場所としている人が多いように感じる。座っての休憩やトイレ休憩など、通過点として利用している人に着目してはどうか。

【委員】公民館のソフト面としての事業なども大切だが、現状として活動ができない状況がある。ハード面として、公民館を外から見せていくのはどうか。散歩の途中に立ち寄ってもらふところとして、ワンストップしやすいベンチや花壇を作るなど試みてもよいと思う。

【事務局】先日、駐車場側の入口の木の根が腐っており、伐採を行った。そこに花壇を作ったが、道路側の花壇も変えたいと考えおり、職員で行うのではなく、親子など利用者の方と一緒に作れると良いと考えている。コロナの関係もあり、今後どの程度、一緒に活動ができるか定かではないが、地域の人と公民館を作っていきたいという思いはある。

【委員】市民と一緒につくっていくということは良い。自分たちで行うと、それだけ愛着がでる。また、鶴瀬は中庭があるため、その活用も行ってもらいたい。先にでた、気軽に立ち寄れるスポットは中庭につくってみてはどうか。

【委員】最初からしっかりとしたスポットを用意すると、それはそれで敷居が高くなってしまいますので、新しい人に来てもらう、公民館を知ってもらうということを趣旨とするならば、きっかけになるようなさり気なく素朴なワンスポットを用意すると良いのではないかと。

【議長】鶴瀬公民館のテーマとしては、①新しい利用者を増やす試み、②公民館を外観から変えていく（寄りやすい雰囲気をつくる）試みの2本挙がっていると感じるが、これらを念頭に運営を考えていくということによいか。

【委員】了承。

【委員】施設のPRとしては、今後、SNSは欠かせないため、配信の仕方も三芳町でやっているコミュニティメールのようなものがあると効果的と感じる。

【事務局】今年度、水谷でYouTube配信や、南畑の動画配信、鶴瀬では市民演劇の集いで中継配信を行った。今後も、SNSの活用の仕方を模索しながら、事業や運営に取り入れていきたいと考えている。

次回会議：令和3年3月16日（火曜日）午後6時～